



ならっ子だより



私の家の庭には梅の木があるんだけど、この前、赤い花が咲いたよ。

2月4日は「立春」。まだまだ寒いけれど、暦の上では「春」。この時期になると梅の花が咲き始めるよね。



つきがせばいりん えほん うめ ひめ 月ヶ瀬梅林と絵本「梅と姫のものがたり」



つきがせばいりん
月ヶ瀬梅林

春の訪れを告げる梅の花。

市の東部、大和高原に位置する月ヶ瀬地区は、梅の名所として知られています。月ヶ瀬梅林（梅溪）は、1922（大正11）年に名勝指定（日本国政府が最初に指定した名勝の一つ）を受けました。名張川（五月川）をはさんだ両岸に梅林が広がり、毎年2月中旬頃から3月末にかけて、「梅まつり」が開催され、多くの観光客が訪れます。現在、約13,000本の梅が栽培されています。

月ヶ瀬梅林は、今から800年ほど前、菅原道真が好んだ梅の木を尾山に植えたことが始まりと言われています。これは口伝ですが、実際に月ヶ瀬で一番古い木として文化財に指定されている「桃仙の梅」は、樹齢600年と言われています。

◆うめ

バラの仲間の落葉低木。300種類以上の品種があり、花を観賞するほか、果実を梅干し・梅酒・ジャムなどにして食べる。加工することで、梅の実に含まれる成分を体に取り入れることができ、健康に良い食品として知られています。

◆えほん「うめ ひめ 梅と姫のものがたり」

月ヶ瀬の歴史や烏梅のいわれなど、地域に伝わる話を後々まで伝えるため、絵本作成委員会を立ち上げ、「梅と姫のものがたり」という美しい絵本ができました。（2004年11月発行）



烏梅：「黒梅」とも呼ばれ、梅の実を煙でいぶしたものです。昔から「紅花染め」の媒染剤や漢方薬として使われてきたそうです。今から700年ほど前に製法が伝えられたと言われています。

現在烏梅は、日本で唯一、月ヶ瀬の中西喜祥さんが製造しています。

「おこうさん」などがあります。伝統工芸では、「烏梅」「紅花染め」「奈良晒」、地域産業は「梅」「茶」などです。特に、梅に関する学習では、梅取り、梅づけ（梅干しづくり）から、梅林清掃、民話の劇化などへと発展しています。

このような学習活動を発表する「学習発表会」を、日頃から支えてもらっている地域の人へのお礼の気持ちも込めて、開催しています。



5年生による尾山万歳

学校紹介

月ヶ瀬小学校の巻
「みんな輝く、つきがせ」

「みんな輝く、つきがせ」という学校目標があります。そして、ふるさと月ヶ瀬から多くのことを学び、地域の人に支えられている学校です。

本校では、地域の人をゲストティーチャーとして学校に招いたり、児童が地域に出かけたりして、地域自然に学ぶ、歴史や文化に学ぶ、産業に学ぶ、人から学ぶなどの学習活動を行っています。たとえば、伝統文化の継承では、「尾山万歳」「子ども狂言」「和太鼓」など、民話の劇化は、「園生姫物語」

